

登山競技の部

当番校 西・土佐・追手前・高知工

1. 大会役員

大会委員長	北村	(宿毛工業高等学校長)				
専門委員長	鎌倉					
運営委員	麻田	宮崎	高橋	福永	乃一	
	刈谷	中平	佃	扇谷	由比	
	都築	利岡	石川	木伏	松岡	
	山崎	森澤	永井			

大会顧問	麻田	(高知県山岳連盟会長)				
審査員長	扇谷					
審査員	刈谷	福永	都築	利岡	石川	
	木伏	山崎	森澤	永井	鎌倉	
総務	都築	利岡				
記録	永井					
現地救護	岡林	石川				
支援	高橋	都築	森澤			

登山隊長	鎌倉			※CPへ先行後、適宜移動
本隊	【男子A隊】	【女子B隊】		
CL	木伏	永井		※CLとSLは適宜先行移動し、審査等を行いつつ、CPまで選手と平行移動
SL	山崎	利岡		
最後尾担当	石川	岡林		※補助隊、現地救護は最後尾担当と共に行動する

2. 大会期日

5月19日(土)～21日(月)

3. 会場

手箱山・筒上山(吾川郡いの町)

4. 競技規定

審査は、『登山部報』全国高校登山大会成績評価実施要領「全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>」、「全国高等学校登山大会審査確認事例」等に基づき実施する。

5. 競技日程

5月19日(土)

9:00～	9:15	受付(高知工業高校大会議室)
9:15～	9:30	運営打合せ後、審査員打合せ
9:30～	9:50	開会式
10:00～	11:00	審査(天気図・知識・気象・救急)
11:00～	11:55	昼食(会議室より退出。11:55集合完了)
12:00～	15:15	バス移動(高知→いの町吾北→白猪谷幕营地)
15:15～	16:00	審査委員会①
16:00～	16:20	入山式
16:30～	17:10	設営審査

17:30～18:00 炊事審査等
 18:00～19:30 審査委員会②
 19:30～20:30 運営委員会①
 20:30～20:50 監督・リーダー会
 21:00 <消灯>

5月20日(日)

4:00 起床・朝食・トイレ
 5:00 運営打合せ後、審査員打合せ
 5:55 集合完了
 6:00 開始通告、諸連絡
 6:30 登山行動開始

【計画】 登山行動約9時間半

CP1区間 白猪谷幕営地～峠(CP1)
 CP2区間 峠～手箱山(CP2)
 隊行動区間 手箱山～手箱越 ※全員手箱越で昼食休憩
 隊行動区間 手箱越～岩黒山～土小屋

16:00～16:30 土小屋にて審査等
 16:30～17:00 審査委員会③、運営委員会②
 17:00～18:30 土小屋第2駐車場設営・炊事審査等
 18:30～20:00 審査委員会④・運営委員会③等
 20:30～20:50 監督・リーダー会
 21:00 <消灯>

5月21日(月)

4:00 起床・朝食・トイレ
 5:30 運営打合せ後、審査員打合せ
 6:00 集合完了・諸連絡
 6:30～10:30 土小屋移動後、登山行動(男女サブ行動)

【計画】 登山行動約4時間

CP4区間 土小屋～丸滝小屋(CP3)
 6:30～7:30 土小屋～丸滝小屋[チーム行動区間]
 7:30～10:30 丸滝小屋～筒状山往復後、土小屋へ往路戻る
 11:00～ 諸連絡後、バス乗車
 13:30 高知工業高校着、審査委員会⑤等(選手は待機、昼食)
 14:00～ 閉会式(高知工業高校大会議室)

6. 参加資格

高知県高等学校体育大会一般要項に従う。

7. 参加制限

- (1) 各校男子1チーム、女子1チームとし、4名1チームであること。
- (2) 各チームの中で1名はリーダーであること。
- (3) 各チームに監督1名とする。

8. 表彰

男女各チーム共に3位までを表彰する。

9. 参加校・参加選手

【 男子 】

学校名	監督名	リーダー名	選手名
土佐	利岡	岡	松本 宮下 中野
追手前	木伏	近藤	清岡 川口 吉村
西	森澤	横田	井上 川上 横田
高知工	永井	中平	小松 長瀧 友竹

【 女子 】

学校名	監督名	リーダー名	選手名
追手前	石川	岡林	高橋 西岡 森下

【 補助員 】 (サポート・救護支援)

学校名	教員名	補助員名
西	山崎	平田 富田 西井
土佐	都築	河本 山本
高知工	鎌倉	稲垣 長沢

【 支援役員 】 (サポート・行動役員・審判員)

高知県山岳連盟	高橋 福永 刈谷
---------	----------

【 救護員 】 (現地における緊急時の救命処置等)

日本赤十字社高知県支部	柚村
-------------	----

全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>

区分	審査項目	審査内容	指導目標	審査細目
I 行 動 (50点)	1 体 力 (40点)	・その山行にふさわしい体力がある。	・持久力のある体力を持ち、山になれた歩行ができる。 ・スタミナの配分を心得、安全・確実な登山を楽しむ余裕をもつ。	・持久力。 ・スタミナの配分。 ・リズム、スピード、バランス。 ・チーム内、チーム間の適度な間隔。 上記について留意し、定められたコースを登山し総合的に評価する。
	2 歩行技術 (10点)	・安全確実な歩行技術が身につけている。		・歩行バランス。 ・適度な歩幅。 ・スリップ、転倒をしない。 ・走らない。 ・リズムカルな歩行。
II 生 活 技 術 (15点)	3 装 備 (5点)	・必要品の所持。 ・その数量と保安が適切である。	・必要品の所持とその数量が適切であり、合理的な収納、パッキングを行うことができる。 ・身体保護のための適切な服装着用ができる。	(注) <u>アンダーライン</u> は個々に防水する携行品 (注) ○印はサブザック行動時に携行する装備品 ・共同携行品 テント一式 (フライを含む)、○ツェルト、炊事用具一式、コンロ、燃料、○救急装備、○ラジオ、○温度計、予備食、○修理具、○裁縫用具 ・個人携行品 ○雨具 (上下)、○ <u>防寒具</u> 、 <u>寝袋</u> 、 <u>着替一式</u> 、○水筒、食器類、○細引、○ <u>ヘッドランプ</u> (予備電池・電球を含めて)、○ <u>計画書</u> 、○ <u>地形図</u> 、○磁石、○時計、○筆記具、○ナイフ、○呼笛、○ <u>手袋</u> 、○ <u>マッチ</u> 、○ <u>ライター</u> 、○非常食、○行動食、ザック、ザックカバー、○サブザック、○サブザックカバー、○その他その山行に合った必需品 ・必要な救急装備の所持 ・服装 登山大会服装規定に従う。 登山靴、帽子の着用。 ・携行品の破損の有無
	4 設営・撤収 (5点)	・動作に無駄がなく、メンバーの連携と手順がよい。	・テントの仕様を理解し、強度を損なわず、特性を活かした適切な扱いができる。 ・安全に、かつ悪天時にも対応しうる適切な設営手順を身につける。	・指定時間内での設営、撤収。 ・手順。 ・ペグの位置、打ち込み、本数。 ・張り綱の適正な張り方。 ・設営中及び設営後のザック等の整理。 ・撤収後の整地。

	5 炊事 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> 安全や衛生に配慮している。 食料計画が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 食料計画は栄養的知識に基づいた献立と調理法を理解し、行動計画に適合して工夫と応用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コンロの正しい使い方。 安全への配慮。 燃料の量及び管理。 食料計画と実際の一致。 衛生的な調理。
Ⅲ 知識 (20点)	6 天気図 (4点)	<ul style="list-style-type: none"> 天気図の作成・解析、天気予報ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 気象に関する基礎的知識を持ち、天気図の作成と解析、天気予報ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地点の気象。 放送等圧線。 等圧線。 高気圧、低気圧、前線。 解析・予報。
	7 課題テスト (1)自然観察課題テスト (4点) (2)救急課題テスト (4点) (3)気象課題テスト (4点)	<ul style="list-style-type: none"> 登山に臨むうえでの基礎的な知識を有する。 会場となる山域についての基礎的な知識を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた適切な対応をとれるよう、実践的な知識を習得する。 対象となる山域について研究し、必要な知識を身につけて登山に臨む。 	<p>(1)(2)(3)共通課題として、予報第1号より、大会山域に関する基礎的な知識を問う。</p> <p>このほか、各課題テストでは次の内容で出題を行う。</p> <p>(1)登山を行う上での一般的な知識。</p> <p>(2)実地に対応できる基礎的救急処置の知識。</p> <p>(3)天気図等の情報の活用、観天望気を行うための基礎的な知識。</p>
	8 計画書 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> 登山計画書の記載が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 登山計画書の必須事項を適正に記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> メンバー表（氏名、生年月日、住所、血液型、保護者、電話）、緊急連絡先（留守本部、現地本部）、日程表、利用交通機関、荒天対策、概念図（主要地点名、ピーク、ルートの記載）、断面図（主要地点名、ピーク）、装備表（共同、個人分担表、重量）、食料計画（献立、カロリー、分担、重量、予備食、行動食、非常食）、救急装備表。
	9 行動記録 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> 行動記録の記載が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 事後に役立つ行動記録の記載をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主要地点の出発・到着時間、または通過時間、天気、コースの概況、自然観察（植生含む）、体調の記入。
Ⅳ 読図技術 (10点)	10 読図技術 (10点)	<ul style="list-style-type: none"> コース上の定点の位置が、地形図上で特定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 読図・地形の観察が現地で即応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 読図による地点確認。

V マナー・自然保護 (5点)	11 マナー・自然保護 (5点)	・自然保護をわきまえ、マナー全般がよい。	・自然保護をわきまえ、マナー全般にわたり良く、他の登山者への気配りができる。	・時間の厳守。 (出発・集合・起床・就寝) ・休憩時のザック位置の配慮、マナー。 ・歩行中のマナー。 ・自然保護への配慮。 ・幕営地におけるマナー。
-----------------------	------------------------	----------------------	--	---

(平成2年7月31日改正、4年8月・7年8月・11年8月一部改訂、13年8月修正確認、14年8月一部改訂、16年8月一部改訂、18年8月一部改訂、20年8月一部改訂、22年11月一部改訂、27年11月改正)

【参考】これまでの県体における審査の一例

- ① 装 備 8品目(医薬品含む)×0.5点 その他2項目(パッキング、服装)×0.5点
- ② 設 営 設営撤収時5項目×0.3点 完成時7項目×0.5点
- ③ 炊 事 5項目×1点
- ④ 気 象 天気図4点 気象知識4点(気象2点+共通2点)
- ⑤ 自然観察 自然観察知識4点(自然2点+共通2点)
- ⑥ 救 急 救急知識(救急2点+共通2点)
- ⑦ 読図技術 定点10点(2日目:9か所×1.0点 3日目:2か所×0.5点など。2日目に10か所×1.0点、2日目に10か所×0.8、3日目に5か所×0.4など、大会により実施形態は変化)
- ⑧ 計画記録 それぞれ2点(10項目×0.2点 又は 5項目×0.4点)
- ⑨ マナー等 全体的に確認し減点。大きくモラルに反するものは、該当事項を-1.0点とする場合もあり。
- ⑩ 体力歩行 審査確認事例に基づき、選手の状況を審査。別途、事前に観点を連絡し、審査する時もあり。